

じ、橙、ところ、昆布米豆、かき、此類を取まじへかざる。又若松やぶかうじ、梅の花をもさす。國俗によりて少異なりといへども、何れもめでたき縁をとる。蓬菜は仙人の住山になぞらへていふにや、唐の五辛盤とおなじ風俗にや、又百事大吉といへるも相似たり。

〔熙朝樂事〕正月朔日。○中 簽柏枝於柿餅、以大橘承之、謂之百事大吉。

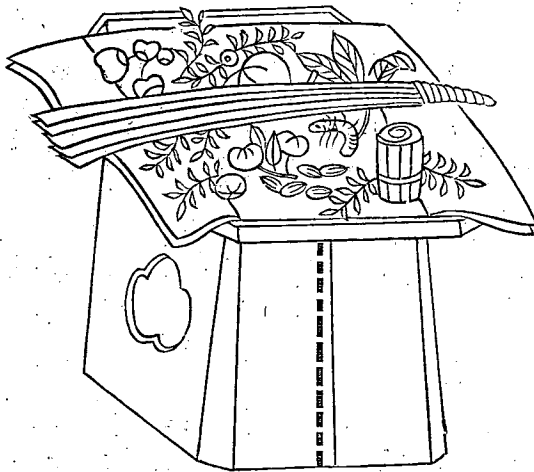
〔翁草 百二十〕正月の饌具は、山家質素の俗より始りけるにや、栗、榧、ところ、又齒朶、ゆづり葉など、雪中に枯ぬもの故、祝して用ひ來れるなるべし、其象を表し其儀をとるにはあらじ、田作り、海老等も、干堅めたる物なれば、名にめで、之を用ひ、元日にいもじ、あらめ用ふる事は、延喜式にも見え、土佐日記にもあれば、久しき風俗と覺え侍る。唐の元餅を、我國の齒固めに附會し、五辛盤を倭の蓬菜の事のやうに語り侍るは、似て是ならず、又元日に鯉肴を用ふる事、春陽は東より來ると云ふをもて、西の縁をかりて祝するなりと云り。

〔改正月令博物筌 正月〕蓬菜いはふ中略圖

は、諸禮家本式の通り也、

蓬菜の圖

蓬菜、三方は、莖のあはした、橙、實をむす、年おちす、代々つす、穗、俵らんと云、搗栗、く故祝ひの物とす、搗、ちたる心にていはいはふ也、萬事にみかん、梅、干、梅、寶珠といはいふ也、榧、のぶらへば、壽命、柑子、ころがき、昆布、のし、柚、ゆかう、野老、海老、橘、串、柿、



〔華實年浪草 正月〕飾海老、紅、蝦、俗謂之伊勢海老、或稱鎌倉海老、蓬菜飾、○中 榧、中略、漢武內傳曰、藥、